

大会運営規定

1. 各チームとも試合開始 30 分前までに集合すること。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチへ入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、監督、コーチ、登録選手、マネージャー、スコアラーの計 31 名以内とする。
4. 試合前のシートノックは行わない。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラ
ンドで行うこと。
6. バットリング、マスコットバットは使用しない。
7. 試合回数はトーナメント方式 7 回戦とし、5 回以降、得点差、降雨、日没の
コールドゲームを適用する。但し、代表決定戦は原則、コールドゲームを適用しない。
8. 代表決定戦を除き、100 分を過ぎて新しいイニングへ入らないものとする。
9. 規定のイニングを終了、または時間切れ同点の場合は、タイブレーク制
(特別ルール)を適用する。
{*タイブレーク制}
継続打順の無死一・二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二
塁走者は順次前の打者とする。
10. 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
・投手が同一日に投球できる投球数を 100 球以内とする。
但し、試合中 100 球に達した場合は、その打者が打撃を完了までとする。
11. 指名打者制を採用する。(公認野球規則 5.11)
但し、大谷ルールは適用しない。
12. 熱中症予防のため、3 回、5 回終了時に 3 分間の給水タイムを設ける。また、守備
時間が長引いた場合、イニングの途中であっても給水タイムを設ける。(20 分を
目安として本部が判断し、打者のプレイ完了後に給水タイムを設ける。)
13. 大会使用球は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球 M 号とする。
14. メンバー表は 4 部提出し、前の試合の 4 回終了後、大会本部にて交換する。
15. 打者、次打者、走者及びベースコーチは、両耳付ヘルメットを着用。捕手は、捕手
用ヘルメット・プロテクター・レガーズ、ファウルカップを必ず着用すること。
16. 上記及び金属バット、捕手用マスクは公認マーク入りのものを使用すること。
17. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム(背番号 0 番から 99 番までとし、監督
30 番、コーチ 29 番、28 番、主将 10 番とする)を着用すること。
18. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
19. 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
20. 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟
の定める規定・規則による。